

あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

山梨県韮崎市穴山町 5164

TEL0551-25-5900

FAX 0551-25-5906

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信



旧穴山駅



JR中央本線 新穴山駅

いま 私達にできること

信和会 理事長 栗原 信

昨年12月、衆議院選挙が行われ、民主党政権から自由民主党政権へと政権交代が行われました。安倍新政権の下、景気を盛り上げ・国民全体で元気な日本を取り戻そうと様々な取組みが打ち出されています。

その中で、社会福祉法人を取り巻く状況は、非常に厳しく、特に、規制改革の議論の中では内部留保の問題がクローズアップされ、社会福祉法人の公益性の問題、また、質の担保の問題についても、民間企業からの強烈な批判を受けています。

社会福祉法人が誕生したのは、戦後処理・復興を図るために、行政だけでは対応が難しく、戦前の社会福祉事業の多くを担っていた民間の篤志家や慈善事業家といわれた個人の事業者の方の民間事業の振興と活用を図ることが必要だった時代であったため、本来的には行政の責務として実施すべき福祉事業を民間に委託し、その事業の運営に必要な経費を公的に助成する制度としたのが社会福祉法人制度であり、措置費制度でした。社会福祉事業については、事業の継続性や安定性の確保等の必要性の高いものを第一種社会事業とし、それ以外は第二種社会事業としており、「第一種社会福祉事業は、国、地方公共団体又は、社会福祉法人が経営することを原則とする。」と法律で規定されています。

福祉サービス事業は、一般の営利目的のサービス業と同じというわけにはいかないため、本来的に行政の責務として果たすべき事業であり、そこに社会福祉法人制度の意味があり、福祉を考える上で忘れてはならないことだと思います。時代は、国家財政の問題とも関連し、社会福祉基礎構造改革の趣旨を踏まえ、社会

福祉事業法が社会福祉法に改正され「措置」から「契約」となり、福祉サービスを利用したい人がサービスを提供する事業者との契約による福祉サービスの提供の仕組みになりました。

そして、社会福祉法人には、マネジメント強化に取り組みつつ、公益性を発揮して、新たな福祉事業の開拓が期待されているのだと思います。

稲盛和夫さんの本の中に、「植物や動物は、自然環境の中であって、自分を守るために一生懸命生きようとしているだけで、他方を滅亡させようとしたのではなく、一方が生存をかけて必至に生きたために、その余波を受けて、生存に対する努力が足りなかったもう一方が脱落していく」。このことが「適者生存」だと説明されています。よく「弱肉強食」と使われもしますが、私は、この「適者生存」の言葉のほうが好きです。

社会福祉法人も時代のニーズに対応し、この時代に適した福祉サービスの構築を図っていかなければなりません。

今年度の社会福祉法人 信和会としては、法人本部の機能を高め、地域のニーズを研究し、「社会福祉法人として何ができ、何を求められているのか。」をじっくり検討する1年としていこうと考えております。そして、新たなサービスの事業展開を図っていこうと考えています。地域の皆様と一緒におかげさまでと言っていただけの社会の実現に向けて汗をかいていきたいと思っております。

本年度もどうぞよろしくお願いいたします。

本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail: honbu@sip-shinwakai.jp



理事会・評議委員会報告

開催日：平成25年3月23日（土）
開催場所：穴山の杜 集会室

審議事項	第1号議案	平成24年度補正予算（案）について
	第2号議案	平成25年度事業計画（案）について
	第3号議案	平成25年度予算案（案）について
	第4号議案	グループホームの開設について
	第5号議案	定款変更について
	第6号議案	諸規程変更について
	第7号議案	物品購入契約について
	第8号議案	駐車場舗装工事について



平成24年度 第4回目の理事・評議員会で上記の議案が審議され、すべての項目について承認を得られたことをご報告いたします。

特記すべき事項としては、第4号議案のグループホームの開設について、改修工事が終了し4月1日より共同生活が始まりました。今回は一体型指定生活援助・介護事業施設「第2あなやまハイツ」として、4名の利用者が入居いたしました。

また、施設によっては設備の経年による不具合なども発生する時期となりました。いままで通り日常点検を実施していく中で、不具合箇所の早期発見につとめ利用者の皆様が安心・安全に過ごせますようお願いいたします。

新入職員紹介

佐野弘平（優和福祉専門学校卒）

はじめまして、佐野弘平です。社会人経験を経てこのたび優和福祉専門学校を卒業し穴山の里の支援員として勤務することとなりました。福祉の仕事に関心を持ち、現実のものとなった喜びは計り知れません。持ち前の明るさで楽しく元気よく利用者の皆様と活動していきたいです。また、スポーツが好きなので利用者と一緒に体を動かし、大好きなヴァンフォーレ甲府のサッカー観戦にみんなで行きたいと思います。支援の技術はまだ未熟ですが先輩方から多くの知識と技術を学び、施設の仕事に早く慣れていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



穴山の里 支援員 小島夏美（健康科学大学卒）

健康科学大学を卒業しました小島夏美です。社会人として初めての仕事となります。学校で学んだ基礎を実際の支援にどのように結びつけばよいのか期待と不安でいっぱいですが、一人でも多くの利用者さんが楽しく生活できるようにサポートしていきたいと思っています。絵を描くことや音楽鑑賞が好きなので絵画クラブを中心として利用者さんと一緒に夢がある世界へ羽ばたけるような絵画を楽しみたいと思います。社会人としても、支援員としてもまだまだ未熟ではありますが、毎日笑顔絶やさず一生懸命頑張りますのでよろしくお願いいたします。



穴山の里だより

障害者支援施設 穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164
Tel0551-25-5900
E-mail : sato@sip-shinwakai.jp



自衛隊研修に参加して



3月15・16日の二日間、航空自衛隊浜松基地に職員2名で参加させていただきました。自衛隊の方とは初めて接したのですが、その物腰の柔らかさと柔軟な対応に、私たちが持っていたイメージとは少し違ったものでした。主な研修内容として、基地内の見学、自衛隊消防隊員による消火訓練などをまじかで見学することが出来ました。



『あいさつ』 隊員のみなさんの大きなはっきりとした挨拶、規律を重んじている姿がとても印象的でした。

『基本動作』 きびきびとした無駄のない動きで見ている私たちまで自然と姿勢がよくなっていくのがわかりました。

『規則正しい時間管理』 きめられた時間の五分前には行動に移す。事前行動をすることによりゆとりのある気持ちで物事に対応できる精神力が養われることを知りました。



今回の研修で自衛隊が日々基本的な行動を繰り返し訓練することにより、刻々と変化する国内外の情勢に的確に対応することができることが学べ、道は違いますが、福祉に携わる私たちも利用者の個々に応じた支援活動を繰り返し行うことにより、活動内容を広げてあげられることを実感し、大変、有意義な研修となりました。

今後もより良い支援ができるよう生かしていきたいです。

穴山の里 生活支援員 渡井紀之 ・ 成瀬 翼

文化祭



3月10日、まだ肌寒い春の一日、穴山町ふれあいホールにて第25回穴山の里文化祭が行われました。日頃の活動の様子や利用者の皆さんの作品などを発表し、訪れた皆様に見ていただきました。

また、今年も地域の舞踏愛好家『末広会』の皆様にご参加頂き、新たに自衛隊北富士駐屯地『北富士天王太鼓』の皆様をお招きして、しなやかで凛々しい舞と、勇壮で荘厳な太鼓の響きを披露していただきました。今年も地域の皆様に協力していただきながら、文化祭を行う事が出来たことに感謝しております。

ありがとうございました。

行ってきました。かえで荘での移動学習会

3月13日、施設外での移動学習を全員で体験しました。

訪問した『かえで荘』は障がい者の受け入れを快く対応して下さる公共の場なので、みんなで楽しく一日を過ごすことが出来ました。これからも利用させていただき計画を立てていますが、来年には閉鎖してしまうことを耳にしました。大変残念なことです。

今後も利用者の皆さんが楽しく過ごせるように移動学習会を計画し、多くの体験をしていただきたいと思います。



静岡・焼津でカール

2月11日から12日までの1泊2日の日程で、会長もご参加いただき静岡県焼津方面に利用者さん10名と職員4名で社会見学を実施しました。

初日は、祝日で大混雑の日本平動物園、博物館を併設している登呂遺跡を見学して焼津の宿泊先に到着しました。全員で入った大浴場の温泉や海の幸いっぱい料理長おすすめの夕食を完食した後は、カラオケ大会を開催して楽しい時間を過ごしました。



2日目は、明治製菓の東海工場で出来立てのチョコレートやお菓子を試食しながら大きな工場の中を貸切状態で見学しました。

2日間とも天候に恵まれてルートも新東名高速道を利用し、私も初めて通る道路で利用者さんと周囲の景色を楽しみながらの車中でした。利用者さんも新しく綺麗なパーキングで買い物訓練が出来て新し物づくしの旅でした。



参加した利用者さんから「また、来たいね。」と云う言葉を聞くことが出来て、この旅行を企画してよかったなど実感した次第です。

参加者全員が楽しい時間を共有できて、より一層強い一体感が形成されたものと確信した旅でもありました。

農業奉仕班 生活支援員 大柴 太賀吉

わ〜く穴山の里だより

多機能型事業所 わ〜く穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
TEL : 0551-25-5866
E-mail : work@sip-shinwakai.jp



現行の「障害者自立支援法」が今年度4月より改正され、新たに日常生活及び社会生活を総合的に支援するための整備に関する法律「障害者総合支援法」が施行されました。

ここ数年福祉事業を取り巻く環境が目まぐるしく変わる中、その都度変化に応じて目的、方針を常に掲げ利用サービスに努めて参りました。今後もわ〜く穴山の里を利用される方々の地域の中の「社会資源・社会参加の拠点」として職員一同、理念と信念を持って支援に努めて参ります。

尚、わ〜く穴山の里では共同生活事業（グループホーム3ヶ所、ケアホーム1ヶ所）を併設しておりますが新たに町内5箇所目となる、一体型生活介護・支援施設「第2あなやまハイツ」が加わり、男性14名、女性9名 総勢23名の方々が地域社会の一員として頑張って生活を営んでおります。



収穫が楽しみ

今年もジャガイモの種芋を植えました



オープンしました

第2あなやまハイツの皆さん



春を感じて

心地よい天気
昼休みのお散歩



いただきます

団らんのひと時
あなやまハイツの皆さん



穴山の杜だより

特別養護老人ホーム穴山の杜
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
Tel.0551-25-6100
E-mail : mori@sip-shinwakai.jp



平成 25 年度穴山の杜事業年次計画決定

3月23日開催の理事会、評議員会において平成25年度の信和会各事業の年次計画案が承認されました。穴山の杜関係では事業計画とともに新しい組織体制、それに伴う人事関係が審議承認されました。

年次計画については、業務のマンネリ化を防ぐことを運営の基本方針とし、各ユニットはそれぞれ業務目標を設定し日々の業務を遂行する目標管理システムを今年度も継続します。又、7つの委員会に全職員が属し委員会テーマを推進し介護レベル、介護サービスの質の向上に努めます。

トピックス春編

1月23日・3月16日 白寿のお祝い会



1月11日に大野武様は99歳のお誕生日を迎えられ、1月23日に白寿のお祝いが行われました。ご家族、多くの他ご利用者や職員より祝福を受け、少し驚かれていましたが喜んでいただけたいと思います!

3月16日には、小林カツ子様のお祝いのご家族や多くの他ご利用者、職員に囲まれながら、白寿のお祝いが行われました。担当職員の心のこもったスライドショーがあり、表情豊かなご本人の日常生活が映し出されていて、感動的なお祝いとなりました。



2月3日 節分



赤鬼さんと青鬼さんに扮した職員が、利用者様のところへやってきました!
「鬼は外～、福は内～」と元気な声で、豆まきをしました。昼食には大豆ご飯や鰯を頂きました!
無病息災で、皆様に福が来ます様に!



3月3日 桃の節句

ひな祭りという事で、利用者様、職員の共同作業にて“ミニひな壇”を作りました!
各ユニットでそれぞれの個性が光っていました。可愛いひな壇が出来上がり、ちらし寿司や桜餅を食べ、お祝いしました。



4月3日 お楽しみ会



ボランティアにて初花会の皆様、舞踊を披露して下さいました。目の前で見える舞踊はやはり格別で、拍手や一緒に手踊りされるご利用者も見られ、素敵な時間を過ごす事が出来ました!

★ご協力のお願い★

行事・七夕、給食委員会では、ご利用者に見ていただく為、鯉のぼりを集めております。使用していない鯉のぼりがありましたら、是非ご持参下さい。(大きさ・色等何でも可)

穴山の杜 (後関)まで

「全国老人福祉施設研究会」に参加して…

亀3丁目ユニットリーダー伊藤みゆき

2月27・28日の2日間、名古屋市内で開催された名古屋会議に参加してきました。
「地域を支える拠点施設として～科学的介護の実践」をテーマとして行われ1日目が全体会、2日目はそれぞれのテーマ毎の6分科会において自立支援介護に対する取り組み等、科学的な根拠に基づく介護の確立を目指し、日頃の実践成果の報告を聞きました。
どの報告を聞いても、それぞれの現場職員の介護に取り組む意識が高いと感じ、中には褥瘡完治に向け「意地でも！」という思いも熱く感じました。
前回、岡山大会に参加した時にも“おむつゼロ”への取り組み発表を幾つも聞き、それを施設へ持ち帰りユニットで取り組みを始めました。それまでは「定時だから…。パットが汚れたから交換する…。」といった後追いの作業でしたが、排便コントロールや水分摂取量等を他職種と協力し合い、トイレやポータブルトイレでの排泄が出来た時には、とても嬉しくその利用者と共に笑い合いました。そういった感動が、職員の励みになり意欲へとつながると思います。“おむつゼロ”には、まだまだ途中段階なので、ユニット目標に掲げ他職員と共に士気を高め、穴山の杜での実践報告が出来るよう科学的介護づくり、自己研鑽に取り組んでいきたいと思っています。



フロア副主任になって！

フロア副主任 大柴恵子

4月よりフロア副主任に就任する事となりました。これからの介護ソフト(介護力)の時代であり、高齢者福祉における介護技術はどこまでいっても際限なく、日々向上しています。職員一人一人は技術向上を目指し日々切磋琢磨しながら、利用者に関わっています。私もこれからは副主任として個々の職員が持っているであろうスキルを引き出せ、まとめることが出来たらと思っています。

私達の仕事は利用者の生活全般を支え、そこから生まれる小さな感動と人として優しさがあふれる素晴らしい仕事です。また、利用者職員との心が通じ合った時の素晴らしさも介護していく上で大きな魅力、原動力となり、これからも多くの笑顔と言葉に触れたいと思います。

穴山の杜は利用者、職員が家庭的な関係を築き、お互いが「今日も楽しかったよ」と言えるようにしたいと、常に頭に入れながら関わっております。決して一人で出来るものではありません。介護に係わる皆さんとの連携が必至です。未熟ながら自分の力を精一杯出したいと思います。よろしくお願い致します。



フロア副主任就任にあたり…

フロア副主任 小尾美香

この度、フロア副主任という大役を頂き、身の引き締まる思いです。
施設長よりフロア副主任のお話を頂いた時、果たして私に出来るのだろうかと不安でしたが、「職員一人一人の質の向上や働きやすい職場に…」という施設長の思いを受け、自分自身も同様に感じていたので、少しでも役に立つことが出来ればと思いお受けする事に致しました。穴山の杜開業以来初の役職で、何をどうすれば良いのかまだわかりませんが、職員一人一人の良さを引き出し、研修等で得た知識を皆で共有し、知識・技術の向上に繋げ、皆で成長していける施設になればと思います。

今年度の運営方針：1.明るい笑顔で利用者・ご家族に満足して頂けるサービスを提供する。
2.新しい組織・新しい発想で介護のマンネリ化を防ぐ。

職員一人一人が考え、意見なども出しながら積極的に取り組んでいく事が出来るようにしていきたいと思っています。皆が気兼ねなく意見を言える事=(イ-)働きやすい職場に繋がると思います。職員間の雰囲気が良ければ、利用者が生活しやすい環境を整える事が出来ると思います。私一人では何も出来ません。介護部部長をはじめフロア副主任、各ユニットリーダーと連携を取り、施設が良くなるよう、微力ながら頑張っていきたいと思っています。



感謝録

(平成24年12月16日から平成25年3月15日)

～ご寄付を頂きました～ (敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

細田設備・(株)セレオ・輿水義人・嶋津泰子・
岩本富子・長田一人・斉藤幸大・伊藤文義
嶋津文江・小池 一・鷲宮神社

～ご協力を頂きました～ (敬称略)

☆ボランティア

千野公洋 (太鼓)・阿部光雄 (歌謡)・中澤正文 (太鼓)
滝沢 哲 (絵画)・自衛隊北富士駐屯地 (太鼓演奏)
穴山町末広会 (日本舞踊)

お知らせ

第2あなやまハイツ開設

改修工事を行ってまいりました

『第2あなやまハイツ』が完成いたしました。

今回、開設いたしました施設は一体型共同生活
援助・介護施設となり、援助・介護の両面をサポートしていきます。

すでに、4名の利用者が入居し生活を始めています。初めての体験で戸惑いがあったり、みんなでの共同生活を楽しんでワクワクしている利用者さんたちばかりです。



このように地域移行が出来ますのも、日頃より地域の皆様を始め関係各位のご理解、ご協力があったのことで厚く御礼申し上げます。

今後も地域の皆様には、何かとご協力いただくこともあるかと存じますが何卒よろしくお願いたします。



訪問録

(平成24年12月16日から平成25年3月15日)

☆教育実習 (敬称略)

優和福祉専門学校

小林珠美・廣瀬雄司・鈴木佐知子・八巻佑介
糸久ひろみ・清水寿子・塩谷みゆき・渡部三樹
伊原優美・小林あゆみ・名取明美・大西繁子
平賀由香莉・岡本千恵子・

帝京学園短期大学 保育科

水上稚菜・中込真夕・吉川尚希・早川綾女
山梨学院短期大学

橘田弥貴・仲原好介・清水弓維・須田汐理
聖セシリア女子短期大学

小野寺 葵・小笠原彩夏

聖徳大学短期大学

西田朱里・三嶋涼恵

帝京科学大学

望月俊彦

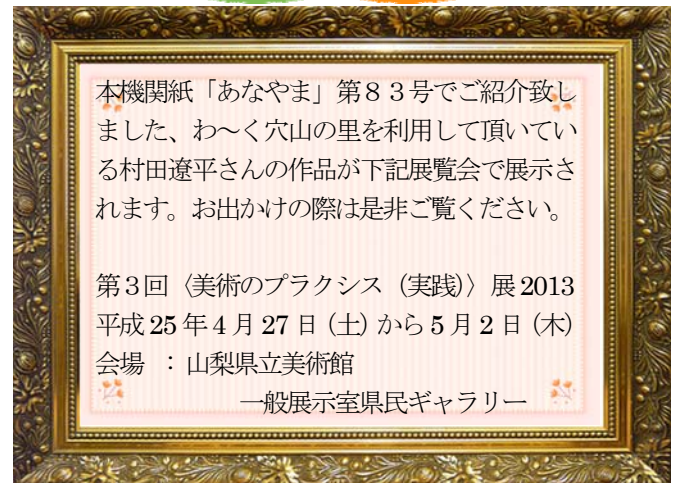
彰栄保育福祉専門学校

浅野志学・若狭英彦

☆職員研修会 (敬称略)

米本 哲也 (講師・国立のぞみの園)

情報



編集後記

今年は桜の開花が一週間以上も早く気がつくと、町のあちこちで桜が微笑んでいました。

いつの頃からか、桜の時期になると落ち着かなくなります。

期待と希望を胸に抱き、それぞれのスタートラインに立つこの時期。夕暮れどきの光を存分に受けた、その桜の木の下で、心地よい、安寧に包まれるのは私だけでしょうか。 —